

## ウォークラリーやゲームコーナーを企画・運営 NI-Youth のふれあい祭り

10月27日、谷津干潟自然観察センターでNIA主催のふれあい祭りが開催されました。NI-Youthはこの祭りのメインとなる、ウォークラリーの企画、実施を行いました。NI-Youthでは約2ヶ月の準備期間をとり、企画内容を景品担当、設問担当、ラリーシート担当に分けて具体的に取り組みました。

ウォークラリーのコースは谷津干潟を1周するコースです。スタンプポイントを何カ所にするか、またそのポイントを何処にするか等については、観察センターのスタッフの方々の協力の下見も行い、より良いものを作るように試行錯誤をしました。また、3箇所に決まったスタンプポイントでの設問にも工夫を凝らしました。ラリーの対象を小学生に絞り、国際交流を意識しつつ、ラムサール条約に加盟する谷津干潟の特徴を活かした渡り鳥を取り上げて、設問することにしました。

当日は日本語教室の方々に協力してもらい、スムーズに運営することができました。ラリーの参加人数は50人くらいと当初の予定より少なかったものの、小さい子供たちがゴールに帰ってきたときに「楽しかった」と言ってくれたり、景品に喜んでくれたので嬉しかったです。

また、子供たちを楽しませるためのゲームコーナーも運営しました。メンバーのみんなでもんな企画がよいかを考えて、『射的&クイズ』をやることに決定しました。当日に向けて、ゴム鉄砲や的、クイズなどを協力しな

がら作って当日に望みました。当日は子供たちが楽しそうにゲームに参加し、景品のお菓子を帰って帰ってくれました。

今回は、とてもいい経験になりました。この経験と反省をこれからの企画にも活かしてければいいなと思います。

(報告 小野翔)



射的ゲームの準備をするメンバー



子どもにクイズの問題を見せます